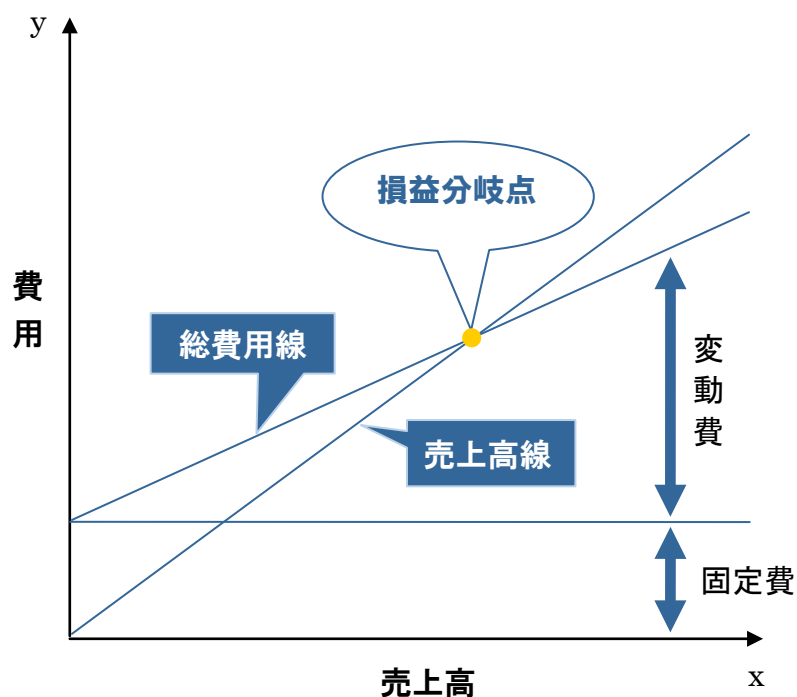


### 3 利益構造が一目で分かる利益図表

#### (1) 利益図表を用いて利益構造を理解する

利益の実現メカニズムを視覚的に表現しているのが「利益図表」です。

#### ■ 利益図表（概要）



A社の数値データを用いた利益図表の活用法を事例からみていきます。

#### ■ A社の数値データ

売上高：5億290万円

変動費：1億9,234万円

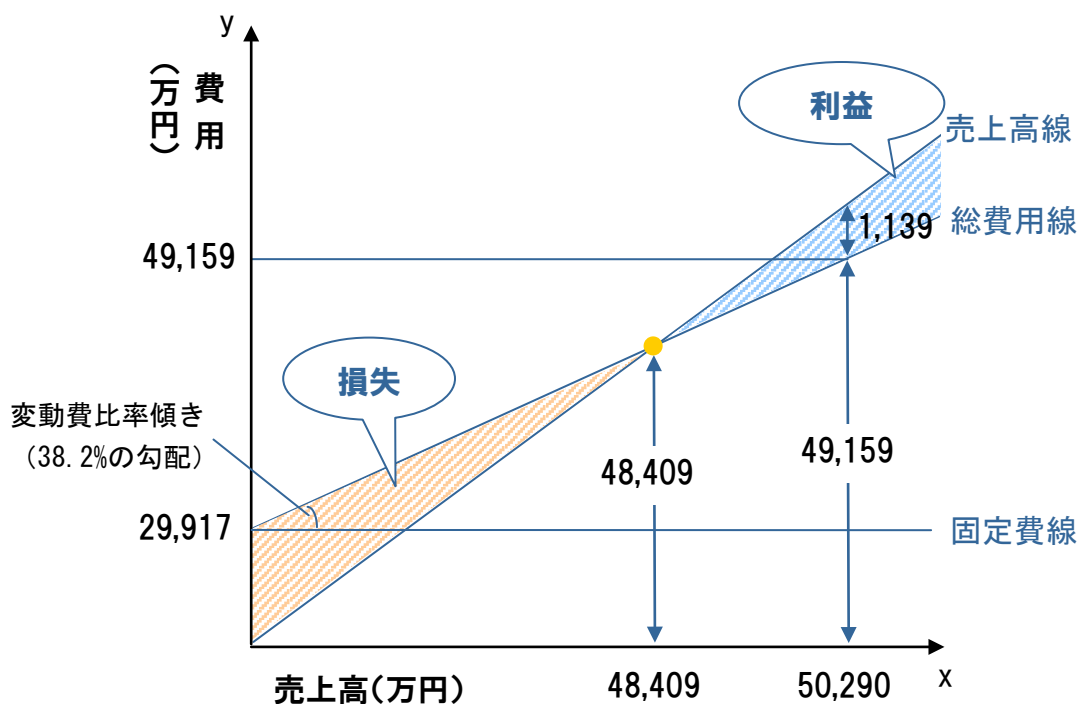
限界利益：3億1,056万円

固定費：2億9,917万円

利益：1,139万円

- 損益分岐点売上高：4億8,409万円
- 売上高に占める変動費比率：38.2%
- A社の目標利益：7,500万円
- 上記目標利益の損益分岐点比率  
= 4億8,409万円 ÷ 6億545万円 = 80%

## ■ A社の『利益図表』



上図がA社の情報を利益図に表したものです。

利益図表は、縦軸  $y$  と横軸  $x$  の交わる点から  $45^\circ$  の対角線を引き、売上高線を求めます。これは  $y$  (費用) =  $x$  (売上高) の線を意味するので、利益ゼロの採算ラインの売上高を示します。

固定費は一定であるので  $x$  軸に並行に固定費線を引き、そして固定費線の上に変動費比率 38.2% の勾配 ( $x$  軸 100 に対して 38.2) を引き、総費用線と売上高線の交点が現在の利益構造における採算ラインである損益分岐点を示します。また、損益分岐点より垂直線を下ろし、 $x$  軸に到達した点が損益分岐点売上高となります。

そして  $x$  軸を右に移動した場所にある売上高の点から垂直線を引き、売上高線と総費用線の交点を求める交点間の  $y$  軸目盛りの差が丁度利益 1,139 万円であることが分かります。

## (2) 限界利益・固定費と売上高の関係を示す「限界利益図表」

売上高に対する限界利益と固定費の関係を示したものが「限界利益図表」です。利益図表と同様に、まず固定費線を引き、次に  $y$  軸と  $x$  軸の交点から限界利益率 61.8% の勾配 ( $x$  軸 100 に対して  $y$  軸 61.8) で限界利益線を引きます。

限界利益線と固定費線の交点が固定費を回収し終わった売上高、すなわち損益分岐点売上高を示します。